

第5事業年度（平成27年度）事業報告書

（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

I. 事業の実施状況

1. 奨学金助成事業

当財団は、昭和52年2月に故榎山純三の私財を投じて設立されました。設立39年目を迎えた本年3月には第36回目の大学奨学生37名及び第30回目の外国人留学生大学院生6名の卒業生を社会に送り出すことが出来ました。下記の当年度採用学生を含めると大学奨学生採用者は累計1962名、外国人留学生は248名となりました。

(1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学40大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの推薦をお願いしました。

留学生については、7大学に大学院生（修士、博士課程）の推薦をお願いしました。

①学部学生

第39回奨学生として43名の応募があり、書類審査の結果43名合格（東日本大震災特別枠2名含む。）但し1大学は採用通知後に辞退したため採用数は42名となりました。

②私費外国人留学生大学院生

第32回外国人大学院留学生として7名の推薦がありました。書類選考と面接選考の結果、推薦者7名全員が合格したため採用しました。

③寄宿舎生（榎山奨学会館）

平成24年度より始めた無償貸与の寄宿舎奨学生5名（外国人留学生大学院生）の面接を行い、入居希望等を聞きました。（寄宿舎貸与大学→東京大学、上智大学）

(2) 奨学金支給

①継続審査（学部学生2.3.4年生・外国人留学生大学院生2年目）

継続給与対象学生から提出された書類に基づき審査した結果、第36回生37名、第37回生42名、第38回生41名 合計120名に対し継続給付を決定し、1人月額4万円を給付、継続の外国人留学生大学院生6名に対しては1人月額12万円を給付しました。

②外国人留学生大学院生（一時金支給）

関東・関西にある14大学に募集を懸けたところ関東1大学、関西1大学は希望者無しでした。従いまして12大学の外国人留学生大学院生12名に対し一回限り1人10万円を奨励金として支給しました。

この結果、新規採用学生、継続学生、奨励生への奨学金総支給額は96,900千円とな

りました。

(3) 交流活動

①新入生歓迎オリエンテーション

平成 27 年 6 月 28 日（日）開催場所：榎山奨学会館新館 新入生全員参加
財団設立者の経歴、設立の趣旨及び財団の歩み、奨学金給与規程の説明等

②第 23 回 留学生会合

平成 27 年 8 月 26 日(水)～27 日(木) 旅行先：名古屋・長良川方面
トヨタ組立工場・トヨタ会館、長良川鵜飼い、郡上八幡、日本昭和村（奨学生 OB が村長）等見学
中国、韓国からの留学生男 10 名、女 9 名参加

③第 39 回 全国会合

平成 27 年 10 月 11 日(日) 開催場所：主婦会館 プラザエフ（四ッ谷）
長年開催場所としてきた日本青年館が建て替えのため使用不可となりました。
27 年度より日帰り開催となりました。

出席者：1 年生 40 名、2 年生 40 名、3 年生 37 名、4 年生 35 名、留学生 16 名
全国の榎山奨学生が集う年一度の会合で当財団役員・選考委員・大学関係者等との懇親をはかります。学生企画会議を開き行事内容等を決めています。
一時金学習奨励生留学生 6 名と現役奨学生成績優秀者 10 名に奨励金を贈呈しました。

④卒業を祝う会

平成 28 年 3 月 6 日(日) 開催場所：榎山奨学会館 出席者 38 名
当財団を終了していく 4 年生、留学生 2 年目、宿舎生に選考委員よりお祝いの言葉を頂きました。また財団からは理事長自ら最後の奨学金と記念品を手渡しました。

⑤OB 会

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くよう家族ぐるみの参加を行っています。

第 29 回関西 OB・OG 会 平成 27 年 11 月 7 日(土) 開催場所：ホテル阪急インターナショナル
出席者：OB・OG、学習奨励生留学生、大学関係者、役員、現役奨学生等計 70 名

第 29 回関東 OB・OG 会 平成 28 年 1 月 23 日(土) 開催場所：榎山奨学会館
出席者：OB・OG、現役生 計 85 名 他に家族約 10 名

(4) 会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年 2 回（第 78 号、第 79 号）発行しました。

2. 榎山純三賞事業

財団設立 30 周年を記念して設立。社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰
この賞は 5 名の選考委員による榎山純三賞選考委員会で決定します。

第10回檉山純三賞 平成27年11月13日(金) 開催場所：ホテルニューオータニ

学術書賞 『現代インド政治 ー多様性の中の民主主義』

近藤則夫 著 出版社 名古屋大学出版会

一般書賞 『ハットに舞う日本刀 ーモンゴル騎兵の現代史』

楊 海英 著 出版社 文藝春秋

II. 財産の状況

(1) 基本財産について

基本財産は株式会社オールドホールディングス株式 8,710,970 株を主とし、定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地 1,652.89 m²です。

本年度は基本財産である株式会社オールドホールディングス株式の配当が 1 株につき 24 円でした。

(2) 特定資産について

公益目的保有財産、資産取得資金、及び特定費用準備資金として積み立えています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的用財産として積み立っている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、また管理用財産として積み立っている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は 1,014,696 万円となっています。

III 管理運営の状況

役員会等に関する事項（理事会、評議員会）

①第5回評議員会（決議の省略）

評議員会の決議があったものとみなされた日：平成27年4月16日（木）

評議員の同意書：評議員 10 名

審議事項の内容：役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定の変更

②第10回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成27年5月19日（火）

理事の同意書：理事 6 名、 異議のない旨の書面：監事 2 名

審議事項の内容

- ・第4期事業年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業報告及び計算書類の承認
- ・評議員、理事、監事の改選
- ・選考委員の改選
- ・定時評議員会開催の招集

③第6回定時評議員会

開催日：平成27年6月3日（水）

出席者：評議員6名、理事4名、監事2名

審議事項の内容

- ・第4期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業年度事業報告及び計算書類の承認
- ・評議員10名、理事6名、監事2名の改選

④第11回理事会

開催日：平成27年6月3日（水）

出席者：理事5名

審議事項の内容：代表理事（理事長）選定

⑤第12回理事会

理事会の決議があったものとみなされた日：平成27年12月28日（月）

理事の同意書：理事5名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・理事選任の件
- ・第7回臨時評議員会（決議の省略）招集の件

⑥第7回臨時評議員会（決議の省略）

評議員会の決議があったものとみなされた日：平成28年1月20日（水）

評議員の同意書：評議員10名

審議事項の内容：理事1名選任の件

⑦第13回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成28年2月22日（月）

理事の同意書：理事6名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・平成28年度事業計画及び同年度収支予算の承認の件
- ・公益目的事業（公2 榎山純三賞）に関する事業内容の追加及びそれに係る定款変更の件
- ・第8回臨時評議員会開催（決議の省略）の件
議題 定款変更の案

⑧第8回臨時評議員会（決議の省略）

評議員会の決議があったものとみなされた日：平成28年3月15日（火）

評議員の同意書：評議員10名

審議事項の内容：公益目的事業（公2 榎山純三賞）に関する事業内容の追加及びそれに係る定款変更の件